

Dell Latitude 5500

セットアップと仕様ガイド



メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

1 コンピュータのセットアップ	5
2 Windows 用の USB 回復ドライブの作成	7
3 シャーシの概要	8
ディスプレイビュー	8
左面図	9
右面図	9
パームレストの図	10
底面図	11
キーボードのショートカット	11
4 技術仕様	13
システム情報	13
プロセッサ	13
メモリ	14
ストレージ	14
システム基板のコネクタ	14
メディア カードリーダー	15
オーディオ	15
ビデオカード	15
カメラ (オプション)	16
通信	16
モバイル ブロードバンド	17
ワイヤレス	17
ポートとコネクタ	17
ディスプレイ	17
キーボード	18
タッチパッド	19
指紋認証リーダー (オプション)	19
オペレーティングシステム	19
バッテリー	19
電源アダプタ	20
センサーおよびコントロールの仕様	21
寸法と重量	21
コンピュータ環境	21
セキュリティ	22
セキュリティ オプション—接触型スマート カード リーダー	22
セキュリティ オプション—非接触スマート カード リーダー	23
セキュリティ ソフトウェア	25
5 ソフトウェア	26
ドライバのダウンロード	26

6 セットアップユーティリティ	27
ブートメニュー	27
ナビゲーションキー	27
ブート シーケンス	28
セットアップユーティリティのオプション	28
一般オプション	28
システム情報	29
ビデオ	31
セキュリティ	31
Secure Boot (安全起動)	32
インテル ソフトウェア ガード エクステンションズ	33
パフォーマンス	33
電力管理	34
POST Behavior (POST 動作)	35
管理性	36
Virtualization Support (仮想化サポート)	36
ワイヤレス	36
メンテナンス画面	36
システムログ	37
Windows での BIOS のアップデート	37
BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート	38
USB フラッシュ ドライブを使用したシステム BIOS のアップデート	38
システムパスワードおよびセットアップパスワード	38
システムパスワードまたはセットアップパスワードの割り当て	39
既存のシステムセットアップパスワードの削除または変更	39
7 ヘルプ	40
デルへのお問い合わせ	40

コンピュータのセットアップ

1. 電源アダプタを接続して、電源ボタンを押します。

メモ: バッテリー電源を節約するために、バッテリーが省電力モードになることがあります。



2. Windows システムのセットアップを終了します。

画面の指示に従ってセットアップを完了します。セットアップの際には、以下のことをお勧めします。

- ・ ネットワークに接続して、Windows アップデートが行えるようにします。
- ・ **メモ:** セキュアなワイヤレスネットワークに接続する場合、プロンプトが表示されたらワイヤレスネットワークアクセス用のパスワードを入力してください。
- ・ インターネットに接続されたら、Microsoft アカウントでサインインするか、またはアカウントを作成します。インターネットに接続されていない場合は、オフラインのアカウントを作成します。
- ・ Support and Protection (サポートおよび保護) の画面で、連絡先の詳細を入力します。

3. Windows スタートメニューから Dell アプリを見つけて使用します。 — 推奨

表 1. Dell アプリを見つける

Dell アプリ	詳細
	Dell 製品の登録 デルに、お使いのコンピュータを登録します。
	Dell ヘルプとサポート コンピュータのヘルプとサポートにアクセスします。

表 1. Dell アプリを見つける (続き)

Dell アプリ	詳細
	SupportAssist コンピュータのハードウェアとソフトウェアの状態をプロアクティブにチェックします。  メモ: SupportAssist 内で保証有効期限をクリックすることで、保証の更新またはアップグレードを行えます。
	Dell アップデート 重要な修正プログラムおよびデバイスドライバが提供された場合に、お使いのコンピューターを更新します。
	Dell Digital Delivery さまざまなソフトウェアアプリケーション (購入済みだがプリインストールされていないソフトウェアなど) を、お使いのコンピューターにダウンロードします。

4. Windows 用のリカバリドライブを作成します。

 **メモ:** Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、リカバリドライブを作成することが推奨されています。

詳細に関しては、「[Windows 用の USB 回復ドライブの作成](#)」を参照してください。

Windows 用の USB 回復ドライブの作成

Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、リカバリドライブを作成します。回復ドライブを作成するには、容量が少なくとも 16 GB で空の USB フラッシュドライブが必要です。

メモ: このプロセスの完了までに、最大 1 時間かかる場合があります。

メモ: 次の手順は、インストールされている Windows のバージョンによって異なる場合があります。最新の説明については、[Microsoft のサポートサイト](#)を参照してください。

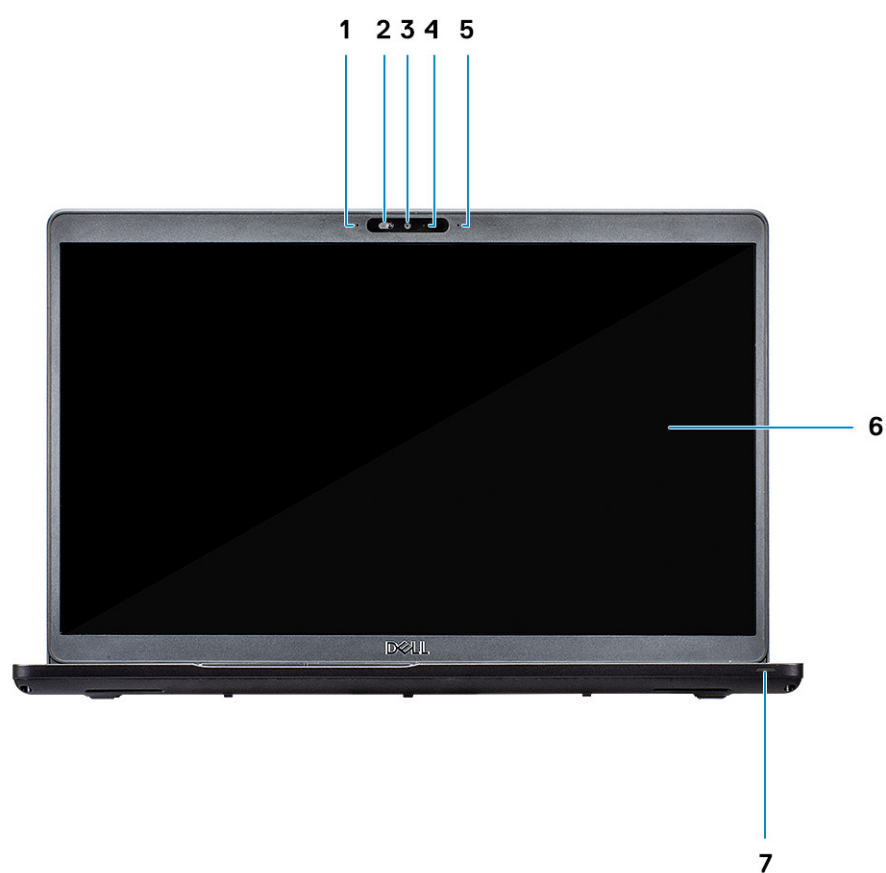
1. お使いのコンピュータに USB フラッシュドライブを接続します。
2. Windows 検索に **回復** と入力します。
3. 検索結果で、**回復ドライブの作成** をクリックします。
ユーザーアカウント制御 ウィンドウが表示されます。
4. **はい** をクリックして続行します。
回復ドライブ ウィンドウが表示されます。
5. システムファイルを回復ドライブにバックアップします を選択し、**次へ** をクリックします。
6. **USB フラッシュドライブ** を選択し、**次へ** をクリックします。
USB フラッシュドライブ内のデータがすべて削除されることを示すメッセージが表示されます。
7. **作成** をクリックします。
8. **完了** をクリックします。
USB 回復ドライブを使用して Windows を再インストールする方法の詳細については、www.dell.com/support/manuals にあるお使いの製品の『サービス マニュアル』で、「トラブルシューティング」の項を参照してください。

シャーシの概要

トピック：

- ・ ディスプレイビュー
- ・ 左面図
- ・ 右面図
- ・ パームレストの図
- ・ 底面図
- ・ キーボードのショートカット

ディスプレイビュー



1. アレイ マイク
3. カメラ
5. アレイ マイク
7. LED アクティビティ ライト

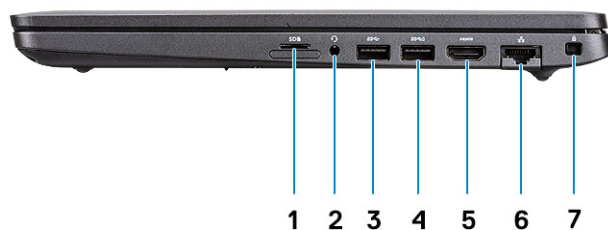
2. SafeView シャッター
4. カメラステータスライト
6. LCD パネル

左面図



- | | |
|------------------|---|
| 1. 電源コネクタポート | 2. USB 3.1 Gen 2 (USB Type-C) ポート (DisplayPort/Thunderbolt 対応)(オプション) |
| 3. USB 3.1 Gen 1 | 4. スマート カード リーダー (オプション) |

右面図



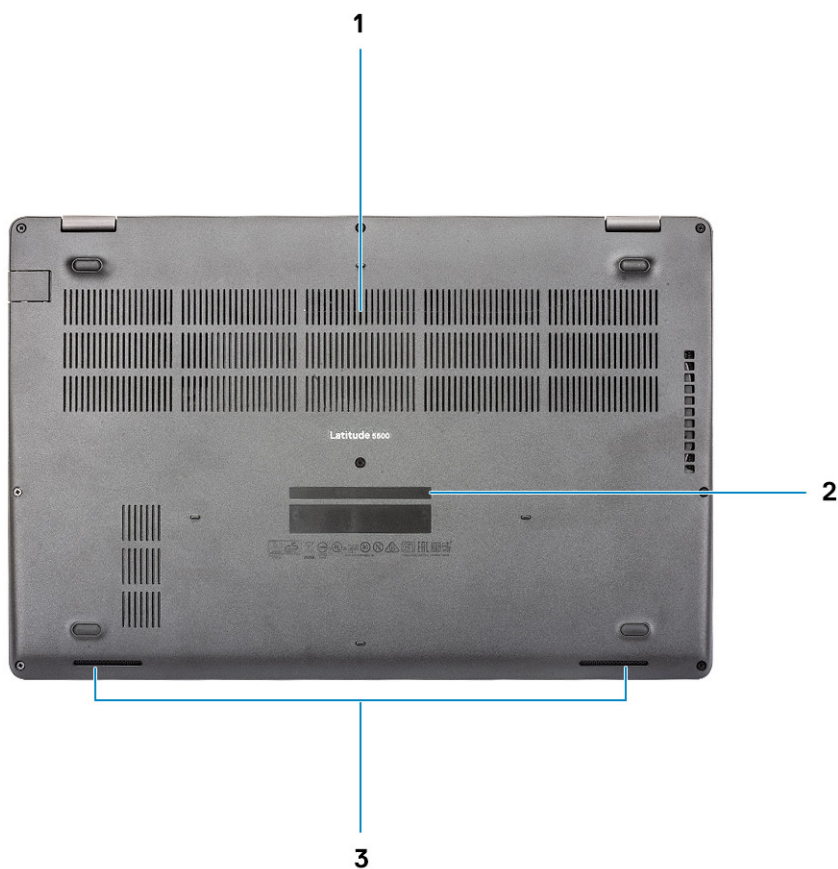
- | | |
|----------------------|--|
| 1. microSD カードリーダー | 2. ヘッドセット/マイク ポート |
| 3. USB 3.1 Gen 1 ポート | 4. USB 3.1 Gen 1 ポート (PowerShare 機能付き) |
| 5. HDMI ポート | 6. ネットワークポート |
| 7. くさび形ロックスロット | |

パームレストの図



- | | |
|-------------------------------|-----------|
| 1. 電源ボタン (オプションの指紋認証リーダー内蔵) | 2. キーボード |
| 3. 指紋認証リーダー (オプション) | 4. タッチパッド |
| 5. トラックスティック (オプション) | |

底面図



- 1. サーマル孔
- 2. サービスタグラベル
- 3. スピーカー

キーボードのショートカット

メモ: キーボードの文字は、キーボードの言語設定によって異なる場合があります。ショートカットに使用するキーは、すべての言語設定で同じです。

表 2. キーボードのショートカットのリスト

キー	プライマリ動作	セカンダリ動作 (Fn+ キー)
Fn+Esc	戻る	Fn キーロックの切り替え
Fn+F1	消音	F1 の動作
Fn+F2	音量を下げる	F2 の動作
Fn+F3	音量を上げる	F3 の動作
Fn+F4	マイクを消音する	F4 の動作

表 2. キーボードのショートカットのリスト (続き)

キー	プライマリ動作	セカンダリ動作 (Fn+ キー)
Fn+F5	キーボード バックライトをオン/オフにする	F5 の動作
Fn+F6	輝度を下げる	F6 の動作
Fn+F7	輝度を上げる	F7 の動作
Fn+F8	外部ディスプレイに切り替え	F8 の動作
Fn+F10	プリントスクリーン	F10 の動作
Fn+F11	ホーム	F11 の動作
Fn+F12	終了	F12 の動作
Fn+Ctrl	アプリケーションメニューを開く	--

技術仕様

システム情報

表 3. システム情報

特長	仕様
チップセット	統合プロセッサ
DRAM バス幅	64 ビット
フラッシュ EPROM	32 MB
PCIe バス	Gen3 まで
外付けバスの周波数	最大 8 GT/秒

プロセッサ

① **メモ:** プロセッサ番号は、パフォーマンスの尺度ではありません。プロセッサの可用性は変わることがあり、地域や国によって異なる場合があります。

表 4. プロセッサの仕様

タイプ	UMA グラフィックス	専用グラフィックス カード
第 8 世代インテル Core i7-8665U プロセッサ (8 MB キャッシュ、4 コア/8 スレッド、1.9 GHz ~ 4.8 GHz、15 W TDP、vPro)	インテル UHD グラフィックス 620	AMD Radeon 540X
第 8 世代インテル Core i5-8365U プロセッサ (6 MB キャッシュ、4 コア/8 スレッド、1.6 GHz ~ 4.1 GHz、15 W TDP、vPro)	インテル UHD グラフィックス 620	AMD Radeon 540X
第 8 世代インテル Core i5-8265U プロセッサ (6 MB キャッシュ、4 コア/8 スレッド、1.6 GHz ~ 3.9 GHz、15 W TDP)	インテル UHD グラフィックス 620	AMD Radeon 540X
第 8 世代インテル Core i3-8145U プロセッサ (4 MB キャッシュ、2 コア/4 スレッド、2.1 GHz ~ 3.9 GHz、15 W TDP)	インテル UHD グラフィックス 620	NA

メモリ

表 5. メモリの仕様

特長	仕様
最低メモリ構成	4 GB
最大メモリ構成	32 GB
スロット数	SoDIMM スロット x 2
スロットごとにサポートされる最大メモリ	16 GB
メモリオプション	・ 4 GB (1 x 4 GB) ・ 8 GB (2 x 4 GB) ・ 8 GB (1 x 8 GB) ・ 16 GB (2 x 8 GB) ・ 16 GB (1 x 16 GB) ・ 32 GB (2 x 16 GB)
タイプ	デュアルチャネル DDR4
速度	2666 MHz 非 ECC SDRAM(インテル第 8 世代プロセッサでは 2400 MHz で動作)

ストレージ

表 6. ストレージの仕様

タイプ	フォームファクタ	インタフェース	容量
PCIe ソリッドステートドライブ	M.2 2230 SSD	PCIe Gen 3x2 NVMe、最大 32 Gbps	最大 512 GB
PCIe ソリッドステートドライブ	M.2 2280 SSD	PCIe Gen 3x4 NVMe、最大 32 Gbps	最大 1 TB
SATA ソリッドステートドライブ	M.2 2280 SSD	SATA (クラス 20)	最大 512 GB
SED PCIe ソリッドステートドライブ	M.2 2280 SSD	SED PCIe	最大 512 GB
HDD	2.5 インチ	SATA	・ 最大 1 TB (5400 RPM) ・ 最大 1 TB (7200 RPM)

システム基板のコネクタ

表 7. システム基板のコネクタ

特長	仕様
M.2 コネクタ	・ 1 x M.2 2230 Key-E コネクタ ・ 1 x M.2 2280 Key-E コネクタ ・ 1 x M.2 3042 Key-B コネクタ

メディアカードリーダー

表 8. メディアカードリーダーの仕様

特長	仕様
タイプ	MicroSD カードリーダー スロット MicroSD カード

オーディオ

表 9. オーディオの仕様

特長	仕様
コントローラ	Realtek ALC3204 (Waves MaxxAudio Pro 搭載)
ステレオ変換	24 ビット DAC (デジタル/アナログ変換) および ADC (アナログ/デジタル変換)
タイプ	HD オーディオ
スピーカー	2 台
インターフェース	内部 : ・ インテル HDA (ハイデフィニッション オーディオ) 外部 : ・ 7.1 チャンネル出力 (HDMI 経由) ・ カメラ モジュールのデジタル マイク入力 ・ ヘッドセット コンボジャック (ステレオ ヘッドフォン/マイク入力)
アンプ内蔵スピーカー	ALC3204 (クラス D 2 W) に内蔵
外付けボリューム コントロール	メディアコントロールショートカットキー
スピーカー出力 :	平均 : 2 W ピーク : 2.5 W
マイク	デジタルアレイマイク

ビデオカード

表 10. ビデオカードの仕様

コントローラ	タイプ	CPU の依存関係	グラフィックスメモリタイプ	容量	外部ディスプレイ対応	最大解像度
インテル UHD グラフィックス 620	UMA	・ インテル Core i7-8665U CPU (vPro) ・ インテル Core	内蔵	共有システムメモリ	HDMI 1.4b ポート	4096 x 2304、24 Hz

表 10. ビデオ カードの仕様 (続き)

コントローラ	タイプ	CPU の依存関係	グラフィックス メモリ タイプ	容量	外部ディスプレイ 対応	最大解像度
		i5-8365U CPU ・ インテル Core i5-8265U CPU ・ インテル Core i3-8145U CPU				
AMD Radeon 540X	ディスクリート	NA	GDDR5	2 GB	該当なし	該当なし

カメラ (オプション)

表 11. カメラの仕様

特長	仕様
カメラのタイプ	RGB、HD 固定フォーカス
IR カメラ	6 mm IR カメラ (オプション)
解像度	静止画像 : HD 解像度 (1280 x 720) 動画 : HD 解像度 (1280 x 720) (30 fps)
対角視野角	IR : 87 度 RGB : 78.6 度
センサーのタイプ	CMOS センサーテクノロジー

 **メモ:** RGB + IR カメラは Windows Hello アプリケーション専用であり、他のアプリケーションでは使用できません。

通信

表 12. 通信の仕様

特長	仕様
ネットワークアダプター	内蔵接続 I219-V 10/100/1000 Mb/s Ethernet (RJ-45) ・ 第 8 世代インテル® Core i5-8365U ・ 第 8 世代インテル® Core i7-8665U 内蔵接続 I217-LM 10/100/1000 Mb/s Ethernet (RJ-45) ・ 第 8 世代インテル® Core i3-8145U ・ 第 8 世代インテル® Core i5-8265U

モバイル ブロードバンド

表 13. モバイル ブロードバンド

仕様
インテル XMM 7360 Global LTE-Advanced

ワイヤレス

表 14. ワイヤレスの仕様

仕様
インテル Dual Band Wireless AC 9560 (802.11ac) 2x2 + Bluetooth 5.0
Qualcomm QCA61x4A 802.11ac デュアル バンド (2x2) ワイヤレス アダプタ + Bluetooth 4.2
インテル Wi-Fi 6 AX200 2x2.11ax 160 MHz + Bluetooth 5.0 (オプション)

ポートとコネクタ

表 15. ポートとコネクタ

特長	仕様
メモリカードリーダー	・ microSD カードリーダー x 1
SIM カードリーダー	micro SIM カード スロット x 1
USB	・ USB 3.1 Gen 1 (Type-A) ポート x 1 ・ USB Type-C 3.1 Gen 2 ポート x 1 (DisplayPort/Thunderbolt 3 対応)(オプション)
セキュリティ	Noble Wedge ロック スロット
オーディオ	ヘッドセット (ヘッドフォンとマイクのコンボ) ポート (1)
ビデオ	HDMI 1.4b ポート x 1 (最大 4k@30 Hz をサポート)
ネットワークアダプター	RJ-45、10/100/1000、LED インジケータ付き

ディスプレイ

表 16. ディスプレイの仕様

特長	仕様
タイプ	・ 15.6 インチ HD (1366 x 768)、非光沢 (16 : 9)、WLED、非タッチ、220 ニット ・ 15.6 インチフル HD 広可視角度 (1920 x 1080)、非光沢 (16 : 9) WLED、非タッチ、220 ニット ・ 15.6 インチフル HD 広可視角度 (1920 x 1080)、組み込みタッチ ディスプレイ (非光沢)、220 ニット (オプション) ・ 15.6 インチフル HD 広可視角度 (1920 x 1080)、非光沢 (16 : 9) WLED、非タッチ、300 ニット、アルミニウム LCD 背面カバー (オプション)

表 16. ディスプレイの仕様 (続き)

特長	仕様
	・ 15.6 インチフル HD 広可視角度 (1920 x 1080)、組み込みタッチ ディスプレイ (非光沢)、220 ニット、アルミニウム LCD 背面カバー (オプション)
高さ (アクティブ エリア)	193.6 mm (7.622 インチ)
幅 (アクティブ エリア)	344.2 mm (13.551 インチ)
対角線	394.91 mm (15.55 インチ)
PPI (1 インチあたりの画素数)	100 141 (オプション)
コントラスト率	500 : 1 (Typ.) 700 : 1 (Typ.) (オプション)
明るさ/輝度 (標準)	220 ニット 300 ニット
リフレッシュレート	60 Hz
水平可視角度 (最小)	+/- 40 度 (HD) +/- 80 度 (FHD) (オプション)
垂直可視角度 (最小)	上/下 = 10/30 度 (HD) +/- 80 度 (FHD) (オプション)
電力消費量 (最大)	4.2 W 6.2 W (オプション)

キーボード

表 17. キーボードの仕様

特長	仕様
キーの数	・ 102 (米国およびカナダ) ・ 103 (英国) ・ 106 (日本)
サイズ	フル サイズ ・ X = 18.6 mm (0.73 インチ) キー ピッチ ・ Y = 19.05 mm (0.75 インチ) キー ピッチ
バックライト付きキーボード	オプション (バックライトおよびバックライトなし)
レイアウト	QWERTY

タッチパッド

表 18. タッチパッドの仕様

特長	仕様
解像度	1221 x 661
寸法	- 幅 : 101.7 mm (4.00 インチ) - 高さ : 55.2 mm (2.17 インチ)
マルチタッチ	5 本指マルチタッチ対応  メモ: Windows 10 のタッチパッド ジェスチャの詳細については、 support.microsoft.com で Microsoft サポート技術情報の記事 4027871 を参照してください。

指紋認証リーダー (オプション)

表 19. 指紋リーダーの仕様

特長	仕様
タイプ	FPR 搭載電源ボタン FPR 搭載パームレスト
センサーテクノロジー	容量式
センサーの解像度	363 PPI 508 DPI
センサー領域	直径 : 10 mm 12.8 mm x 18 mm

オペレーティングシステム

表 20. オペレーティングシステム

特長	仕様
サポートされているオペレーティングシステム	- Windows 10 Home (64 ビット) - Windows 10 Professional (64 ビット) - Ubuntu 18.04 LTS (64 ビット)

バッテリー

表 21. バッテリー

特長	仕様					
タイプ	3 セル リチウムイオン (42 WHr) ExpressCharge		3 セル リチウムイオン (51 WHr) ExpressCharge		4 セル リチウムイオン (68 WHr) ExpressCharge	
寸法	幅	95.9 mm (3.78 インチ)	幅	95.9 mm (3.78 インチ)	幅	95.9 mm (3.78 インチ)
	奥行き		奥行き		奥行き	

表 21. バッテリー (続き)

特長	仕様					
	高さ	181 mm(7.13 インチ) 7.05 mm(0.28 インチ)	高さ	181 mm(7.13 インチ) 7.05 mm(0.28 インチ)	高さ	233 mm (9.17 インチ) 7.05 mm(0.28 インチ)
重量 (最大)	200 g (0.44 lb)		250 g (0.55 lb)		340 g (0.75 ポンド)	
電圧	11.40 VDC		11.40 VDC		7.6 VDC	
寿命	300 サイクル (充電 / 放電)		300 サイクル (充電 / 放電)		300 サイクル (放電 / 充電)(標準パック) 1,000 サイクル (放電 / 充電)(LCL パック)	
コンピュータ非起動時の充電時間 (概算)	標準充電	0°C ~ 50°C : 4 時間	標準充電	0°C ~ 50°C : 4 時間	標準充電	0°C ~ 50°C : 4 時間
	Express Charge	0°C ~ 15°C : 4 時間 16°C ~ 45°C : 2 時間 46°C ~ 50°C : 3 時間	Express Charge	0°C ~ 15°C : 4 時間 16°C ~ 45°C : 2 時間 46°C ~ 50°C : 3 時間	Express Charge	0°C ~ 15°C : 4 時間 16°C ~ 45°C : 2 時間 46°C ~ 50°C : 3 時間
動作時間	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。		バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。		バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	
温度範囲 : 動作時	充電 : 0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F) 放電 : 0°C ~ 60°C (32°F ~ 139°F)		充電 : 0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F) 放電 : -20°C ~ 60°C (-40°F ~ 139°F)		充電 : 0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F) 放電 : 0°C ~ 60°C (32°F ~ 139°F)	
温度範囲 : 保管時	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)		-20°C ~ 60°C (-40°F ~ 140°F)		-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)	
コイン型電池	CR-2032		CR-2032		CR-2032	

電源アダプタ

表 22. 電源アダプタの仕様

特長	仕様	
タイプ	E5 65 W	E5 90 W
入力電圧	100 ~ 240 VAC	100 ~ 240 VAC
入力電流 (最大)	1.5 A	1.6 A
アダプタのサイズ	寸法 インチ : 0.87 x 2.60 x 4.17 ミリ : 22 x 66 x 106	寸法 インチ : 0.87 x 2.60 x 5.12 ミリ : 22 x 66 x 130

表 22. 電源アダプタの仕様 (続き)

特長	仕様	
バレル	7.4 mm	7.4 mm
重量	0.23 kg (0.51 ポンド)	0.32 kg (0.70 ポンド)
入力周波数	50 ~ 60 Hz	50 ~ 60 Hz
出力電流	3.34 A (連続稼動時)	4.62 A
定格出力電圧	19.5 VDC	19.5 VDC
温度範囲 (動作時)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
温度範囲 (非動作時)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)

センサーおよびコントロールの仕様

表 23. センサーおよびコントロールの仕様

仕様
1. マザーボード上の落下防止センサー
2. ホール効果センサー(蓋が閉じているときに検知)

寸法と重量

表 24. 寸法と重量

特長	仕様
高さ	前面 : 20.3 mm (0.79 インチ) 背面 : 22 mm (0.86 インチ)
幅	359.1 mm (14.1 インチ)
奥行き	236.25 mm (9.3 インチ)
重量	1.82 kg (4.03 ポンド)

コンピュータ環境

空気汚染物質レベル : G1 (ISA-S71.04-1985 の定義による)

表 25. コンピュータ環境

	動作時	ストレージ
温度範囲	0 ~ 35°C (32 ~ 95°F)	-40°C ~ 65 °C (-40°F ~ 149°F)
相対湿度 (最大)	10% ~ 80% (結露しないこと) ① メモ: 最大露点温度 = 26°C	0 ~ 95 % (結露しないこと) ① メモ: 最大露点温度 = 33°C
振動 (最大)	0.26 GRMS	1.37 GRMS

表 25. コンピュータ環境 (続き)

	動作時	ストレージ
衝撃 (最大)	105 G †	40 G ‡
高度 (最大)	-15.2 m ~ 3048 m (-50 フィート ~ 10,000 フィート)	-15.2 m ~ 10,668 m (-50 フィート ~ 35,000 フィート)

* ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用して測定。

† ハードドライブの使用中に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

‡ ハードドライブヘッドが停止位置にある時に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

セキュリティ

表 26. セキュリティ

特長	仕様
TPM (Trusted Platform Module) 2.0	システム基板内蔵
Firmware TPM	オプション
Windows Hello のサポート	有、オプションの指紋認証リーダー内蔵電源ボタン オプションの IR カメラ
ケーブル ロック	Noble ロック
Dell スマートカード キーボード	オプション
TPM の FIPS 140-2 認証	有
ControlVault 3 による高度な認証 (FIPS 140-2 レベル 3 認証に対応)	有、FPR、SC、および CSC/NFC 用
指紋認証リーダーのみ	電源ボタンに内蔵のタッチ式指紋認証リーダー (ControlVault 3 に接続)
接触型スマート カードおよび ControlVault 3	FIPS 201 スマート カード リーダー認証/SIPR

セキュリティ オプション—接触型スマート カード リーダー

表 27. 接触型スマート カード リーダー

役職	説明	Dell ControlVault 3 スマート カード リーダー
ISO 7816 -3 クラス A カードのサポート	5V 電源スマート カードの読み取りが可能なリーダー	有
ISO 7816 -3 クラス B カードのサポート	3V 電源スマート カードの読み取りが可能なリーダー	有
ISO 7816 -3 クラス C カードのサポート	1.8V 電源スマート カードの読み取りが可能なリーダー	有
ISO 7816-1 準拠	リーダーの仕様	有

表 27. 接触型スマート カード リーダー (続き)

役職	説明	Dell ControlVault 3 スマート カード リーダー
ISO 7816 -2 準拠	スマート カード デバイスの物理特性 (サイズ、接続ポイントの場所など) の仕様	有
T=0 のサポート	カードは文字レベル転送をサポートします	有
T=1 のサポート	カードはブロック レベル転送をサポートします	有
EMVCo 準拠	www.emvco.com に掲載されている EMVCo (電子決済規格用) スマート カード規格に準拠	有
EMVCo 認定	EMVCo スマート カード規格に基づいて正式に認定	有
PC/SC OS インターフェイス	ハードウェア リーダーをパーソナル コンピューター環境に統合するためのパーソナル コンピューター/スマート カードの仕様	有
CCID ドライバの準拠	OS レベル ドライバの集積回路カード インターフェイス デバイスの一般的なドライバサポート。	有
Windows 認定	Microsoft WHCK によって認定されたデバイス	有
GSA による FIPS 201(PIV/HSPD-12) 準拠	FIPS 201/PIV/HSPD-12 要件に準拠したデバイス	有

セキュリティ オプション—非接触スマート カード リーダー

表 28. 非接触型スマート カード リーダー

役職	説明	Dell ControlVault 3 非接触型スマート カード リーダー (NFC 対応)
Felica カードのサポート	Felica 非接触型カードをサポート可能なリーダーおよびソフトウェア	有
ISO 14443 Type A カードのサポート	ISO 14443 Type A 非接触型カードをサポート可能なリーダーおよびソフトウェア	有
ISO 14443 Type B カードのサポート	ISO 14443 Type B 非接触型カードをサポート可能なリーダーおよびソフトウェア	有
ISO/IEC 21481	ISO/IEC 21481 準拠の非接触型カードおよびトークンをサポート可能なリーダーおよびソフトウェア	有
ISO/IEC 18092	ISO/IEC 21481 準拠の非接触型カードおよびトークンをサポート可能なリーダーおよびソフトウェア	有
ISO 15693 カードのサポート	ISO15693 非接触型カードをサポート可能なリーダーおよびソフトウェア	有
NFC タグのサポート	NFC 準拠のタグ情報の読み取りおよび処理をサポートします	有

表 28. 非接触型スマートカードリーダー（続き）

役職	説明	Dell ControlVault 3 非接触型スマートカードリーダー（NFC 対応）
NFC リーダー モード	NFC フォーラム定義リーダー モードのサポート	有
NFC ライター モード	NFC フォーラム定義ライター モードのサポート	有
NFC ピアツーピア モード	NFC フォーラム定義ピアツーピア モードのサポート	有
EMVCo 準拠	www.emvco.com に掲載されている EMVCo スマートカード規格に準拠	有
EMVCo 認定	EMVCo スマートカード規格に基づいて正式に認定	有
NFC Proximity OS インターフェイス	OS が使用可能な NFP（Near Field Proximity）デバイスを列挙します	有
PC/SC OS インターフェイス	ハードウェアリーダーをパーソナルコンピュータ環境に統合するためのパーソナルコンピュータ/スマートカードの仕様	有
CCID ドライバの準拠	OS レベルドライバの集積回路カードインターフェイスデバイスの一般的なドライバサポート	有
Windows 認定	Microsoft WHCK によって認定されたデバイス	有
Dell ControlVault のサポート	デバイスは使用状況と処理のために Dell ControlVault に接続します	有
Prox（Proximity）（125kHz）カードのサポート	Prox/Proximity/125kHz 非接触型カードをサポート可能なリーダーおよびソフトウェア	無

📌 **メモ:** 125 KHz の近接型カードはサポートされません。

表 29. サポートされているカード

製造元	Card	対応
HID	jCOP readertest3 A カード（14443a）	有
	1430 1L	
	DESFire D8H	
	iClass（レガシー）	
	iClass SEOS	
NXP/Mifare	Mifare DESFire 8K White PVC カード	有
	Mifare Classic 1K White PVC カード	
	NXP Mifare Classic S50 ISO カード	
G&D	idOnDemand - SCE3.2 144K	有
	SCE6.0 FIPS 80K Dual+ 1 K Mifare	
	SCE6.0 nonFIPS 80K Dual+ 1 K Mifare	
	SCE6.0 FIPS 144K Dual + 1K Mifare	
	SCE6.0 nonFIPS 144K Dual + 1 K Mifare	

表 29. サポートされているカード (続き)

製造元	Card	対応
	SCE7.0 FIPS 144K	
Oberthur	idOnDemand - OCS5.2 80K	有
	ID-One Cosmo 64 RSA D V5.4 T=0 カード	

セキュリティ ソフトウェア

表 30. セキュリティ ソフトウェアの仕様

仕様
Dell Client Command Suite
オプションの Dell Data Security および管理ソフトウェア ・ Dell Endpoint Security Suite Enterprise ・ Dell Data Guardian ・ Dell Encryption Enterprise ・ Dell Encryption Personal ・ Dell Threat Defense ・ MozyPro または MozyEnterprise ・ RSA NetWitness Endpoint ・ RSA SecurID Access ・ VMware Workspace ONE ・ Absolute Endpoint Visibility and Control

ソフトウェア

本章では、対応オペレーティングシステムおよびドライバのインストール方法について詳しく説明します。

トピック：

- ・ [ドライバのダウンロード](#)

ドライバのダウンロード

1. ノートブックの電源を入れます。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
3. **Product Support (製品サポート)** をクリックし、お使いのノートブックのサービスタグを入力して、**Submit (送信)** をクリックします。
 **メモ:** サービスタグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いのノートブックのモデルを手動で参照してください。
4. **Drivers and Downloads (ドライバおよびダウンロード)** をクリックします。
5. お使いのノートブックにインストールされているオペレーティングシステムを選択します。
6. ページをスクロール ダウンし、ドライバを選択してインストールします。
7. **Download File** をクリックして、お使いのノートブックのドライバをダウンロードします。
8. ダウンロードが完了したら、ドライバファイルを保存したフォルダに移動します。
9. ドライバファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。

セ ッ ト ア ッ プ ユ ー テ ィ リ テ ィ

△ 注意: コンピューターに詳しい方以外は、BIOS セットアップ プログラムの設定を変更しないでください。特定の変更でコンピュータが誤作動を起こす可能性があります。

① メモ: BIOS セットアップ プログラムを変更する前に、後で参照できるように、BIOS セットアップ プログラム画面の情報を控えておくことをお勧めします。

BIOS セットアップ プログラムは次の目的で使用します。

- ・ RAM の容量やハード ドライブのサイズなど、コンピューターに取り付けられているハードウェアに関する情報の取得。
- ・ システム設定情報の変更。
- ・ ユーザー パスワード、取り付けられたハード ドライブの種類、基本デバイスの有効化または無効化など、ユーザー選択可能オプションの設定または変更。

トピック：

- ・ ブートメニュー
- ・ ナビゲーションキー
- ・ ブート シーケンス
- ・ セットアップユーティリティのオプション
- ・ Windows での BIOS のアップデート
- ・ システムパスワードおよびセットアップパスワード

ブートメニュー

デルのロゴが表示されたら F12 キーを押し、システムの有効な起動デバイスがリストされた「One Time Boot (1 回限りの起動)」メニューを表示します。このメニューには、「Diagnostics (診断)」と「BIOS Setup (BIOS セットアップ)」オプションも含まれています。起動メニューのデバイスの表示は、システム内のブータブルデバイスによって変わります。このメニューは、特定のデバイスの起動時またはシステムの Diagnostics (診断) プログラムの起動時に使用すると便利です。起動メニューを使用しても、BIOS に格納された起動順序は変更されません。

オプションは次のとおりです。

- ・ 「UEFI boot (UEFI 起動)」:
 - Windows Boot Manager (Windows ブートマネージャ)
- ・ 「Other Options (その他のオプション)」:
 - BIOS Setup (BIOS セットアップ)
 - BIOS Flash Update (BIOS フラッシュアップデート)
 - 診断
 - Change Boot Mode Settings (起動モード設定の変更)

ナビゲーションキー

① メモ: ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか (該当する場合)、フィールド内のリンクに移動します。

キー	ナビゲーション
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

ブート シーケンス

ブート シーケンスを利用すると、セットアップユーティリティで定義されたデバイス起動順序をバイパスし、特定のデバイス(例：光学ドライブまたはハードドライブ)から直接起動することができます。電源投入時の自己テスト (POST) 中に Dell のロゴが表示されたら、以下が可能になります。

- ・ F2 キーを押してセットアップユーティリティにアクセスする
- ・ F12 キーを押してワнтаイム ブート メニューを立ち上げる

ワнтаイム ブート メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- ・ リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- ・ STXXXX ドライブ
- ・  **メモ:** XXXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- ・ 光学ドライブ (利用可能な場合)
- ・ SATA ハードドライブ (利用可能な場合)
- ・ 診断
- ・  **メモ:** 診断を選択すると ePSA 診断画面が表示されます。

ブート シーケンス画面ではセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

セットアップユーティリティのオプション

 **メモ:** お使いのノートパソコンおよび取り付けられているデバイスによっては、このセクションに一覧表示された項目の一部がない場合があります。

一般オプション

表 31. 一般規定

オプション	説明
システム情報	以下の情報が表示されます。 ・ システム情報：BIOS バージョン、サービスタグ、資産タグ、購入者タグ、製造日、購入日、エクスプレス サービス コードが表示されます。 ・ Memory Information：Memory Installed、Memory Available、Memory Speed、Memory Channel Mode、Memory Technology、DIMM A size、DIMM B size が表示されます。 ・ プロセッサ情報：プロセッサのタイプ、コア数、プロセッサ ID、現在のクロック スピード、最小クロック スピード、最大クロック スピード、プロセッサ L2 キャッシュ、プロセッサ L3 キャッシュ、HT 対応、および 64 ビットテクノロジーを表示します。 ・ デバイス情報：プライマリ HDD、M.2 PCIe SSD-0、LOM MAC アドレス、ビデオコントローラー、ビデオ BIOS バージョン、ビデオメモリ、パネルタイプ、解像度、オーディオコントローラー、Wi-Fi デバイス、Bluetooth デバイスが表示されます。
Battery Information	バッテリーの正常性ステータスおよび AC アダプタが取り付けられているかどうかが表示されます。
Boot Sequence (起動順序)	このリスト内の指定されたデバイスからコンピュータが OS を探す順序です。
UEFI Boot Path Security	このオプションは、F12 起動メニューから UEFI 起動パスを起動する場合に、システムがユーザーに管理者パスワードを入力するように求めるかどうかを制御します。

表 31. 一般規定 (続き)

オプション	説明
	- Always, Except Internal HDD — デフォルト - Always, except internal HDD&PXE - Always (常に) - なし
Date/Time	日付と時刻を設定できます。システムの日付と時刻の変更はすぐに有効になります。

システム情報

表 32. システム設定

オプション	説明
Integrated NIC	オンボード LAN コントローラーを設定できます。 - Disabled = 内蔵 LAN がオフのため、オペレーティングシステムに認識されません。 - Enabled = 内蔵 LAN が有効です。 - Enabled w/PXE = 内蔵 LAN が有効です (PXE 起動)(デフォルトで選択)
SATA Operation	統合ハードドライブコントローラの動作モードを設定することができます。 - Disabled (無効) = SATA コントローラは非表示 - AHCI = SATA は AHCI モード用に構成済み - RAID ON = SATA は RAID モードをサポートするように構成されます (デフォルトで選択)
Drives	各種オンボードドライブを有効または無効に設定することができます。 - SATA-2 (デフォルトで有効) - M.2 PCIe SSD 0 (デフォルトで有効)
Smart Reporting	このフィールドでは、統合ドライブのハードドライブエラーをシステム起動時に報告するかどうかを制御します。Enable Smart Reporting (スマートレポートを有効にする) オプションはデフォルトでは無効になっています。
USB 設定	以下のオプションについて、内蔵 USB コントローラを有効または無効に設定できます。 - Enable USB Boot Support (USB 起動サポートを有効にする) - Enable External USB Port すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。
Thunderbolt アダプタ設定	このセクションでは、Thunderbolt アダプタの設定を可能にします。 - Thunderbolt - デフォルトで有効 - Enable Thunderbolt Boot Support - 無効 - No security - 無効 - User configuration - デフォルトで有効 - Secure connect - 無効 - Display Port and USB Only - 無効
USB PowerShare	このオプションでは、USB PowerShare 機能の動作を設定できます。 Enable USB PowerShare - デフォルトで無効 この機能は、ノートブックがスリープ状態にある場合でも、ノートブックの USB PowerShare ポート経由で内蔵のシステム バッテリー電源を使用して、ユーザーが電話やポータブル音楽プレーヤーなどの外部デバイスへの電源供給や充電をできるようにすることを目的としています。
オーディオ	内蔵オーディオコントローラを有効または無効にすることができます。Enable Audio (オーディオを有効にする) オプションはデフォルトで選択されています。 Enable Microphone (マイクを有効にする)

表 32. システム設定 (続き)

オプション	説明
	・ Enable Internal Speaker (内蔵スピーカーを有効にする) 両方のオプションがデフォルトで選択されています。
Keyboard Illumination	このフィールドでは、キーボードライト機能の動作モードを設定できます。キーボードの輝度レベルを、0% ~ 100%の間で設定できます。オプションは次のとおりです。 ・ Disabled (無効) ・ Dim (暗い) ・ Bright - デフォルトで有効
Keyboard Backlight Timeout on AC (AC でのキーボードバックライトのタイムアウト)	Keyboard Backlight Timeout (キーボードバックライトのタイムアウト) は、AC オプションで暗くなります。メインのキーボードライト機能には影響しません。キーボードライトは、さまざまな照明レベルを継続的にサポートします。このフィールドは、バックライトが有効になっている場合に効果があります。オプションは次のとおりです。 ・ 5 秒 ・ 10 sec - デフォルトで有効 ・ 15 秒 ・ 30 秒 ・ 1 分 ・ 5 分 ・ 15 分 ・ なし
Keyboard Backlight Timeout on Battery (バッテリでのキーボードバックライトのタイムアウト)	Keyboard Backlight Timeout (キーボードバックライトのタイムアウト) は、Battery (バッテリ) オプションで暗くなります。メインのキーボードライト機能には影響しません。キーボードライトは、さまざまな照明レベルを継続的にサポートします。このフィールドは、バックライトが有効になっている場合に効果があります。オプションは次のとおりです。 ・ 5 秒 ・ 10 sec - デフォルトで有効 ・ 15 秒 ・ 30 秒 ・ 1 分 ・ 5 分 ・ 15 分 ・ なし
Unobtrusive Mode (控えめモード)	・ Enable Unobtrusive Mode - デフォルトで無効 有効にした場合、Fn+Shift+B を押すとシステム内のすべてのライトとサウンドがオフになります。 Fn+Shift+B を押すと通常の動作に戻ります。
Miscellaneous Devices	次のデバイスの有効 / 無効を切り替えることができます。 ・ Enable Camera (カメラを有効にする)(デフォルトで有効) ・ Enable Hard Drive Free Fall Protection - デフォルトで有効 ・ Enable Secure Digital (SD) card - デフォルトで有効 ・ Secure Digital (SD) Card Boot (SD カード起動) ・ Secure Digital (SD) card Read-Only-Mode (SD カード読み取り専用モード)
MAC Address Pass- Through	・ System Unique MAC Address - デフォルトで無効 ・ Integrated NIC 1 MAC Address ・ Disabled (無効) この機能により、外付 NIC の MAC アドレス (サポートされているドックまたは dongle のもの) がシステムから選択された MAC アドレスに置き換えられます。デフォルト オプションでは、パススルーの MAC アドレスが使用されます。

ビデオ

オプション

説明

LCD Brightness

電源 (バッテリーおよび AC) に応じてディスプレイの輝度を設定できます。バッテリーおよび AC アダプタ用に LCD の輝度を別々に設定します。スライダを使用して設定できます。

 **メモ:** ビデオ設定はビデオカードがシステムに取り付けられている場合にのみ表示されます。

セキュリティ

表 33. セキュリティ

オプション	説明
Admin Password	管理者パスワードを設定、変更、および削除することができます。
System Password	システムパスワードを設定、変更、および削除することができます。
Internal HDD-2 Password	このオプションでは、システムの内蔵ハード ディスク ドライブ (HDD) のパスワードの設定、変更、または削除を実行できます。
Strong Password	システムの強力なパスワードを有効または無効に設定することができます。
Password Configuration	管理者パスワードとシステムパスワードの最小、および最大文字数をコントロールすることができます。文字の範囲は 4 ~ 32 の間です。
Password Bypass	このオプションを選択すると、システムの再起動時、System (Boot) Password (システム (起動) パスワード) と内蔵 HDD パスワード入力のダイアログをスキップすることができます。 - Disabled (無効) — パスワードが設定されると、システムおよび内蔵 HDD パスワード入力のダイアログが表示されます。このオプションはデフォルトで有効化されています。 - Reboot Bypass (再起動時にスキップ) — 再起動時、パスワード入力のダイアログをスキップします (ウォームブート)。  メモ: オフの状態から電源を入れると (コールドブート)、システムはシステムパスワードと内蔵 HDD パスワードの入力を常に指示します。また、モジュールベイ HDD がある場合でも、パスワードの入力が常に指示されます。
Password Change	管理者パスワードが設定されている場合に、システムおよびハードディスクパスワードの変更を許可するかどうかを決定するオプションです。 Allow Non-Admin Password Changes (管理者以外のパスワードによる変更を許可) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
UEFI Capsule Firmware Updates	このオプションで、システムが UEFI カプセルアップデートパッケージから BIOS をアップデートできるかどうかを制御します。このオプションは、デフォルトで選択されていますこのオプションを無効にすると、Microsoft Windows Update や Linux Vendor Firmware Service (LVFS) のようなサービスからの BIOS のアップデートをブロックします。
TPM 2.0 Security	TPM (Trusted Platform Module) をオペレーティングシステムが認識できるかどうかを制御することができます。 - TPM On (デフォルト) - Clear (クリア) - 有効なコマンドの PPI をスキップ - 無効なコマンドの PPI をスキップ - PPI Bypass for Clear Commands - 有効な証明書 (デフォルト) - 有効なキーストレージ (デフォルト) - SHA-256 (デフォルト) いずれかのオプションを選択します。 - Disabled (無効) - Enabled (有効) (デフォルト)

表 33. セキュリティ (続き)

オプション	説明
Absolute	このフィールドでは、オプションの Absolute Software 社製 Absolute Persistence Module サービスの BIOS モジュール インターフェイスを、Enabled、Disabled、Permanently Disabled のいずれかに設定することができます。 - Enabled - このオプションはデフォルトで選択されています。 - Disabled (無効) - Permanently Disabled
OROM Keyboard Access	このオプションで、起動時にホットキーを使用して [Option ROM Configuration] 画面を表示させるかどうかを決定します。 - Enabled (有効) (デフォルト) - Disabled (無効) - One Time Enable (1 回のみ有効)
Admin Setup Lockout	管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップの起動を防止することができます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
Master Password Lockout	マスターパスワードサポートを無効にできます。この設定を変更する前には、ハードディスクパスワードをクリアする必要があります。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
SMM Security Mitigation	追加の UEFI SMM セキュリティの軽減による保護を有効/無効にできます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。

Secure Boot (安全起動)

表 34. 安全起動

オプション	説明
Secure Boot Enable	安全起動機能を有効または無効にできます。 Secure Boot Enable オプションが選択されていません。
Secure Boot Mode	UEFI ドライバ署名の評価または強制が可能になるように安全起動の動作を変更できます。 - Deployed Mode (デフォルト) - Audit Mode
Expert key Management	システムが Custom Mode (カスタムモード) の場合のみ、セキュリティキーデータベースを操作できます。 Enable Custom Mode (カスタムモードを有効にする) オプションはデフォルトでは無効になっています。オプションは次のとおりです。 - PK (デフォルト) - KEK - db - dbx Custom Mode (カスタムモード) を有効にすると、 PK 、 KEK 、 db 、および dbx の関連オプションが表示されます。オプションは次のとおりです。 Save to File (ファイルに保存) - ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。 Replace from File (ファイルから交換) - 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと交換します。 Append from File (ファイルから追加) - ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。 Delete (削除) - 選択したキーを削除します。 Reset All Keys (すべてのキーをリセット) - デフォルト設定にリセットします。 Delete All Keys (すべてのキーを削除) - すべてのキーを削除します。

表 34. 安全起動 (続き)

オプション	説明
	① メモ: Custom Mode (カスタムモード) を無効にすると、すべての変更が消去され、キーはデフォルト設定に復元されます。

インテル ソフトウェア ガード エクステンションズ

表 35. インテル ソフトウェア ガード エクステンションズ

オプション	説明
Intel SGX Enable	このフィールドでは、メイン OS のコンテキストでコードの実行や、機密情報の保管を行うためのセキュアな環境を設定します。 次のオプションのいずれかをクリックします。 ・ 無効 ・ 有効 ・ ソフトウェア制御 (デフォルト)
エンクレープメモリサイズ	このオプションで、SGX エンクレープリザーブメモリサイズを設定します。 次のオプションのいずれかをクリックします。 ・ 32 MB ・ 64 MB ・ 128 MB (デフォルト)

パフォーマンス

表 36. パフォーマンス

オプション	説明
Multi Core Support	このフィールドでは、プロセスで1つのコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。アプリケーションによっては、コアの数を増やすとパフォーマンスが向上します。 ・ All — デフォルト ・ 1 ・ 2 ・ 3
Intel SpeedStep	プロセッサのインテル SpeedStep モードを有効または無効にすることができます。 ・ Enable Intel SpeedStep (Intel SpeedStep を有効にする) このオプションは、デフォルトで設定されています。
C-States Control	プロセッサのスリープ状態を追加で有効または無効に設定することができます。 ・ C States このオプションは、デフォルトで設定されています。
Intel TurboBoost	プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。

表 36. パフォーマンス (続き)

オプション	説明
	・ Enable Intel TurboBoost (Intel TurboBoost を有効にする) このオプションは、デフォルトで設定されています。
Hyper-Thread Control	ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。 ・ Disabled (無効) ・ Enabled — デフォルト

電力管理

オプション

説明

AC Behavior

AC アダプタが接続されるとコンピュータの電源が自動的にオンになる機能を有効または無効にすることができます。

デフォルト設定：Wake on AC (ウェイクオン AC) は選択されていません。

Enable Intel Speed Shift Technology

- ・ Enable Intel Speed Shift Technology

デフォルト設定：Enabled (有効)

Auto On Time

コンピュータを自動的に電源オンにする必要のある時刻を設定できます。オプションは次のとおりです。

- ・ Disabled (無効)
- ・ Every Day (毎日)
- ・ Weekdays (平日)
- ・ Select Days (選択した日)

デフォルト設定：Disabled (無効)

USB Wake Support

USB デバイスをシステムに接続するとスタンバイモードからウェイクするように設定できます。

メモ: この機能は、AC 電源アダプタを接続している場合のみ有効になります。待機状態で AC 電源アダプタを取り外すと、セットアップユーティリティはバッテリーの電力を節約するため、すべての USB ポートへの電力供給を停止します。

- ・ Enable USB Wake Support (USB ウェイクサポートを有効にする)

Wireless Radio Control

この機能を有効にすると、有線ネットワークへのシステムの接続を検出し、その後、選択したワイヤレス無線 (WLAN および/または WWAN) を無効化します。

- ・ Control WLAN radio - 無効

Wake on LAN

LAN 信号によってトリガーされた時にコンピュータをオフ状態からオンにする機能を有効または無効にすることができます。

- ・ Disabled (無効)
- ・ LAN Only (LAN のみ)
- ・ LAN with PXE Boot (PXE ブート付き LAN)

デフォルト設定：Disabled (無効)

Block Sleep

このオプションでは、OS の環境でスリープに入ることを防ぐことができます。有効な場合、システムはスリープ状態にはなりません。

Block Sleep - 無効

Peak Shift

このオプションでは、ピーク時の AC 電源消費を最小限に抑えることができます。このオプションを有効にすると、システムは AC に接続されている場合でもバッテリーのみで動作します。

- ・ Enable peak shift - 無効になっています
- ・ Set Battery Threshold (バッテリしきい値の設定) (15 ~ 100 %) - 15 % (デフォルトで有効)

オプション	説明
Advanced Battery Charge Configuration	このオプションにより、バッテリーの性能を最大限に活用できます。このオプションを有効にすることで、標準充電アルゴリズムと他のテクニックを使用して、非作業時間にバッテリーの性能を高めます。 Enable Advanced Battery Charge Mode - 無効になっています
Primary Battery Charge Configuration	バッテリーの充電モードを選択することができます。オプションは次のとおりです。 - Adaptive (適応) — デフォルトで有効 - Standard (標準) — 標準速度でバッテリーをフル充電します。 - ExpressCharge (高速充電) — デルの高速充電テクノロジーを使って、より短い時間でバッテリーを充電できます。 - Primarily AC use (主に AC を使用) - カスタム Custom Charge (カスタム充電) が選択されている場合は、Custom Charge Start (カスタム充電開始) と Custom Charge Stop (カスタム充電停止) も設定できます。 メモ: バッテリーによっては、一部の充電モードが使用できない場合もあります。このオプションを有効にするには、Advanced Battery Charge Configuration (高度なバッテリー充電設定) オプションを無効にする必要があります。

POST Behavior (POST 動作)

オプション	説明
Adapter Warnings	特定の電源アダプタを使用する場合に、セットアップユーティリティ (BIOS) の警告メッセージを、有効または無効にすることができます。 デフォルト設定: Enable Adapter Warnings (アダプタ警告を有効にする)。
Numlock Enable	コンピュータの起動時に Numlock オプションを有効にすることができます。 Enable Network (ネットワークを有効にする)。このオプションはデフォルトで有効化されています。
Fn Lock Options	ホットキーの組み合わせ <Fn>+<Esc> で、F1 ~ F12 のプライマリ動作を標準機能と二次機能との間で切り替えることができます。このオプションを無効にすると、これらのキーのプライマリ動作を動的に切り替えることはできません。使用可能なオプションは次のとおりです。 - Fn Lock (Fn ロック) — デフォルトで有効に設定されています。 - ロックモード無効 / 標準 - デフォルトで有効 - ロックモード有効 / セカンダリ
Fastboot	一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化できます。オプションは次のとおりです。 - Minimal (最小) - Thorough (完全) — デフォルトで有効に設定されています - 自動
Extended BIOS POST Time	プレブート遅延を追加で作成することができます。オプションは次のとおりです。 0 秒 - デフォルトで有効です 5 秒 10 秒
Full Screen Log	全画面のログを有効にする - 有効になっていません
Warnings and Errors	- 警告およびエラー時のプロンプト - デフォルトで有効です - 警告時に続行 - 警告およびエラー時に続行します

管理性

オプション

説明

Intel AMT Capability

システムの起動時に、AMT 機能と MEBx ホットキー機能が有効になるようセットアップできます。

- ・ Disabled (無効)
- ・ Enabled - デフォルト
- ・ Restrict MEBx Access

MEBx Hotkey

有効に設定すると、USB ストレージ デバイスのローカル プロビジョニング ファイルを使用して、インテル AMT をプロビジョニングできます。

- ・ Enable USB Provision - デフォルトで無効

MEBx Hotkey

システムの起動時に、MEBx ホットキー機能を有効にするかどうかを指定できます。

- ・ Enable MEBx hotkey - デフォルトで有効

Virtualization Support (仮想化サポート)

オプション

説明

Virtualization

このフィールドでは、Intel Virtualization テクノロジーが提供する条件付きのハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。

Enable Intel Virtualization Technology - デフォルトで有効に設定されています。

VT for Direct I/O

ダイレクト I/O 用に Intel® Virtualization テクノロジーによって提供される付加的なハードウェア機能を仮想マシンモニター (VMM) が利用するかどうかを指定します。

Enable VT for Direct I/O (ダイレクト I/O 用 VT を有効にする) — デフォルトで有効に設定されています。

Trusted Execution

このオプションでは、Intel Trusted Execution テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を MVMM (Measured Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。この機能を使用するには、TPM 仮想化テクノロジーとダイレクト I/O 用仮想化テクノロジーを有効にする必要があります。

Trusted Execution — デフォルトで無効に設定されています。

ワイヤレス

オプションの説明

Wireless Device Enable

内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。

- ・ WLAN
- ・ Bluetooth

すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。

メンテナンス画面

オプション

説明

Service Tag

お使いのコンピュータのサービスタグが表示されます。

Asset Tag

Asset Tag が未設定の場合、システムの Asset Tag を作成できます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。

BIOS Downgrade

ここで、システムファームウェアの以前のバージョンへのフラッシングを制御します。「Allow BIOS downgrade (BIOS のダウングレードを許可)」オプションは、デフォルトで有効に設定されています。

オプション	説明
Data Wipe	このフィールドでは、すべての内蔵ストレージデバイスからデータを安全に消去するかどうかを制御できます。「Wipe on Next boot (次回起動時に消去)」オプションは、デフォルトで有効に設定されていません。次に、対象となるデバイスのリストを示します。 ・ 内蔵 SATA HDD/SSD ・ 内蔵 M.2 SATA SSD ・ 内蔵 M.2 PCIe SSD ・ Internal eMMC
BIOS Recovery	このフィールドで、ユーザーのプライマリハードドライブまたは外付け USB キーのリカバリファイルから特定の破損した BIOS 状況をリカバリできます。 ・ BIOS Recovery from Hard Drive (ハードドライブからの BIOS のリカバリ) — デフォルトで有効に設定されています。 ・ Always perform integrity check (常に整合性チェックを実行) — デフォルトで無効に設定されています。
First Power On Date	このオプションは、取得日を設定できます。 ・ Set Ownership Date - デフォルトで無効

システムログ

オプション	説明
BIOS Events	セットアップユーティリティ (BIOS) の POST イベントを表示またはクリアすることができます。
Thermal Events	セットアップユーティリティ (Thermal) のイベントを表示またはクリアすることができます。
Power Events	セットアップユーティリティ (Power) のイベントを表示またはクリアすることができます。

Windows での BIOS のアップデート

システム基板を交換する場合やアップデートが入手できる場合は、BIOS (セットアップユーティリティ) をアップデートすることをお勧めします。ノートパソコンの場合、お使いのコンピューターのバッテリーがフル充電されていてコンセントに接続されていることを確認してください。

メモ: BitLocker が有効になっている場合は、システム BIOS をアップデートする前に一時停止し、BIOS のアップデート完了後に再度有効にする必要があります。

1. コンピュータを再起動します。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
 - ・ サービスタグやエクスプレスサービスコードを入力し、**Submit (送信)** をクリックします。
 - ・ [**Detect Product**] をクリックして、画面に表示される指示に従います。
3. サービスタグを検出または検索できない場合は、[**Choose from all products**] をクリックします。
4. リストから **Products** カテゴリを選択します。

メモ: 該当するカテゴリを選択して製品ページに移動します。
5. お使いのコンピュータモデルを選択すると、そのコンピュータの**製品サポート**ページが表示されます。
6. **Get drivers** をクリックし、**Drivers and Downloads** をクリックします。
[Drivers and Downloads] セクションが開きます。
7. [**Find it myself**] をクリックします。
8. [**BIOS**] をクリックして BIOS のバージョンを表示します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで、**Download** をクリックします。
10. **ダウンロード方法を以下から選択してください** ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、**Download File (ファイルのダウンロード)** をクリックします。
ファイルのダウンロードウィンドウが表示されます。
11. ファイルをコンピュータに保存する場合は、**Save (保存)** をクリックします。
12. **Run (実行)** をクリックしてお使いのコンピュータに更新された BIOS 設定をインストールします。
画面の指示に従います。

BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート

△ **注意:** BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリ キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリ キーが不明な場合は、データ消失の原因となったり、本来必要のないオペレーティングシステムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この問題の詳細については、次のナレッジベース記事を参照してください。 <https://www.dell.com/support/article/sln153694>

USB フラッシュ ドライブを使用したシステム BIOS のアップデート

システムが Windows にロードできないときに、BIOS をアップデートする必要がある場合は、別のシステムを使用して BIOS ファイルをダウンロードし、ブータブル USB フラッシュ ドライブに保存します。

① **メモ:** ブータブル USB フラッシュ ドライブを使用する必要があります。詳細については、次の記事を参照してください。 <https://www.dell.com/support/article/sln143196/>

1. BIOS アップデート.EXE ファイルを別のシステムにダウンロードします。
2. ファイル (O9010A12.EXE など) をブータブル USB フラッシュ ドライブにコピーします。
3. BIOS のアップデートを必要とするシステムに、USB フラッシュ ドライブを挿入します。
4. システムを再起動し、デルのスプラッシュ ロゴが表示されたら F12 を押して、ワン タイム ブート メニューを表示します。
5. 矢印キーを使用して、**USB Storage Device** を選択し、[Return] をクリックします。
6. システムが起動し、Diag C:\>プロンプトが表示されます。
7. 完全なファイル名 (O9010A12.exe など) を入力して [Return] を押し、ファイルを実行します。
8. BIOS アップデート ユーティリティがロードされます。画面の手順に従います。

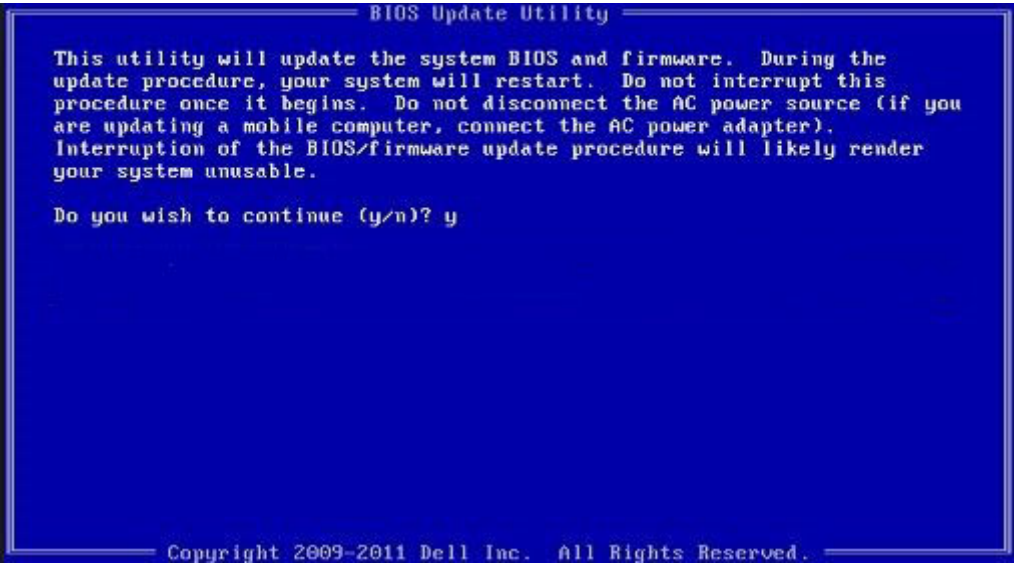


図 1. DOS の BIOS アップデート画面

システムパスワードおよびセットアップパスワード

表 37. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いのコンピュータの BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いのコンピュータを保護することができます。

 **注意:** パスワード機能は、コンピュータ内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

 **注意:** コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

 **メモ:** システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

システムパスワードまたはセットアップパスワードの割り当て

ステータスが [**Not Set**] の場合のみ、新しい [**System or Admin Password**] を割り当てることができます。

セットアップユーティリティを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

1. システム BIOS 画面またはセットアップユーティリティ画面で、セキュリティを選択し、<Enter> を押します。セキュリティ画面が表示されます。
2. [**System/Admin Password**] を選択し、[**Enter the new password**] フィールドでパスワードを作成します。
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - ・ パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - ・ 0 から 9 までの数字を含めることができます。
 - ・ 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
 - ・ 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、() , (-) (.) (/) (;) ([] \) (')
3. 新しいパスワードの確認フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、**OK** をクリックします。
4. <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
5. <Y> を押して変更を保存します。
コンピュータが再起動します。

既存のシステムセットアップパスワードの削除または変更

既存のシステムパスワードやセットアップパスワードを削除または変更する際は、パスワードステータスが(システムセットアップで)「ロック解除」になっていることを事前に確認してください。「**Password Status (パスワードステータス)**」が「**Locked (ロック)**」に設定されている場合は、既存のシステムパスワードまたはセットアップパスワードを削除または変更できません。

セットアップユーティリティを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

1. システム BIOS 画面またはセットアップユーティリティ画面で、システムセキュリティを選択し、<Enter> を押します。システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面でパスワードステータスが**ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. **System Password (システムパスワード)** を選択し、既存のシステムパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。
4. **Setup Password (セットアップパスワード)** を選択し、既存のセットアップパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。
 **メモ:** システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを変更する場合は、プロンプトが表示されたら新しいパスワードを再度入力します。システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除する場合は、プロンプトが表示されたら削除を確定します。
5. <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. <Y> を押して変更を保存しセットアップユーティリティを終了します。
コンピューターが再起動します。

トピック：

- ・ [デルへのお問い合わせ](#)

デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国／地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **Dell.com/support** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある **国／地域を選択** ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。